

No.3 夏休み前の発表会 号(2026.7.24 発行)

学園祭が終わり、三者懇談が終わるといよいよ夏休みですが、その夏休み前に3つの大きな発表会がありましたのでまとめて報告します。

3年生グループ課題研究成果発表会(7/15)

最初に2研究がスライド発表、その後、「スカラー」と「総合的な探究の時間」の代表研究がポスター発表を行いました。スライド発表をしてくれたのは以下の2研究です。

表1 スライド発表研究

水車×効率 ～水受けの枚数が回転数に与える影響～
制服のリユースの実現について



スライド発表の様子(視聴覚室)

3年生にとって最後の校内発表会ということもあり、多くの研究グループが放課後や休日を活用して実験や調査を行い、発表準備を進めてきました。特にスライド発表を行った「水車×効率」のグループは、空き時間を見つけては理科棟に来て、熱心に実験を重ねていました。また、もう一つのスライド発表である「制服のリユース」は、最終的にリユースの仕組みを作るところまでには至らなかったという結論でした。しかし、その過程で明らかになったのは、単に回収した制服の保管場所を確保すればよいという問題ではないということでした。自治体やアパレルメーカーとのやり取りを通して、制服を古着として扱う際の行政上の制約や、メーカーとの利害関係など、解決すべき多くの課題が存在することを報告してくれました。一方で、彼らが目指した取り組みは決して実現不可能なものではありません。発表の最後には、「この研究をぜひ後輩たちに引き継いでほしい」という思いが語られました。両研究とも、3月のNTSでの発表時から内容が大きくブラッシュアップされており、3年生らしい完成度の高い研究発表となっていました。その後はポスター発表が行われました。「総合的な探究の時間」から出場した10題の発表も含め、3年生のプレゼンテーションは非常に完成度が高く、さすが最上級生だと感じさせられるものでした。



ポスター発表の様子(北館4会場)

南アルプスユネスコエコパークに関する発表会(7/18)

南アルプスがユネスコエコパークに登録されてから、今年で11年目を迎えます。韮崎高校では、ユネスコエコパークの緩衝地域に位置する甘利山を研究対象としていることから、これまでユネスコエコパークに関連するさまざまなイベントで研究成果を発表する機会をいただけてきました。今回は、韮崎市の「ニコリ」を会場に、県内4団体による活動発表が行われました。このイベントでは、一般的な発表会よりも長い20分間の発表時間が設けられていましたので、日頃から研究活動に協力してくださっている方々へ研究の現状や成果をしっかりと伝える機会と捉え、できるだけ丁寧に、研究の全体像が伝わるよう心掛けて発表しました。高校生の研究は、「研究として適切な手順を踏んでいるか」や「他の研究と比べて優れている点は何か」といった観点で評価されることが少なくありません。しかし、本来研究とは、そのテーマに関わる人々や地域社会に成果を還元し、貢献することに大きな意義があるはずです。その意味で、南アルプスに関わる多くの方々に対して、さわら池の未来について考えるきっかけとなる研究成果を伝えられたことは、非常に意義深い取り組みであったと改めて感じました。



韮崎駅前のニコリで発表

やまなし探究シンポジウム(7/20)

県内の公立高校 29 校が一堂に会し、日頃の探究活動の成果を共有するとともに、中学生やその保護者に向けて学校紹介を行うイベントが今年度から始まりました。韮崎高校からは 11 タイトルが参加しました（表 2）。3 年生による 7 タイトルは、これまでにポスター発表やスライド発表の経験を重ねており、さらに開催 5 日前の 7 月 15 日には校内発表会も実施していたため、自信を持って発表に臨むことができたと思います。また、このような発表形式にまだ慣れていない学校に対しては、良いロールモデルとなることができたのではないかと感じています。さらに、ある企業の担当者から「協力できることがあると思います」と声をかけていただき、名刺を頂戴した研究もありました。このように企業関係者から名刺を頂くことは今回が初めてではなく、本校の研究活動が外部からも高い関心と評価を得ていることの表れであると考えています。企業が協力したいと思うような、社会的意義や発展性を備えた研究に取り組んでいる証拠の一つと言えるのではないのでしょうか。

一方で、初めての試みである学校紹介ブースをどうするかについては非常に悩みました。その日、部活がオフと分かっている 3 年生 5 人とともに 1 カ月以上前から打ち合わせを重ね、横幅 4m、奥行き 3m のスペースに学校紹介説明用のポスターを貼り、その前で生徒がプレゼンをしながら、同時に作成した動画も見てもらおうとなりました。最終的に作成した、ポスターは 6 枚と動画は 6 個（写真）は、8 月 29 日のオープンスクールでも展示しますので、興味のある方はぜひその際に確認してみてください。

山梨大学との共同研究の契約(7/20)

前述の記事でもでてきた「甘利山さわら池の調査」の取り組みをきっかけに、このたび山梨大学との共同研究契約を締結することとなりました。また、7 月上旬には、山梨大学生命環境学部の田中靖浩先生と研究室の大学院生の皆さんとともに、さわら池（写真下）の現地調査を実施しました。現在、大学側には、さわら池に自生する特定の植物の根の周辺に生息する微生物について、その種類や構成割合の分析を依頼しています。

「甘利山さわら池の調査」は生態系に関する研究ですが、その内容は地質学、植物学、水生生物学など多岐にわたる分野にまたがっています。そのため、一つひとつの分野について専門家から詳細な質問を受けると、十分に答えられないこともあります。しかし、それぞれの分野の知見

を少しずつ積み重ね、それらを統合して全体像を明らかにしていくことこそが、この研究の大きな特徴であると考えています。今回の共同研究で扱う微生物の分析も、私たちだけでは十分に解明できない専門的な領域です。しかし、甘利山で起きている現象の全容を理解するためには欠かせない知識であると考えています。こうした専門家との連携を通して研究を進めることは、これからの探究活動や学術研究の一つのあり方でもあると考えています。



甘利山さわら池の様子

表2 やまなし探究シンポジウムに参加した研究一覧

3 年 生	音楽室の壁穴のヒミツ	ポスター スライド
	甘利山さわら池の調査	ポスター
	ミライを変える糸	ポスター
	電子レンジでオーロラを作ろう	ポスター
	災害時こそソーラークッカー！	ポスター
	おまんとお！山梨の魅力をゲームでしらだぁ！	ポスター
	山梨県の人口減少問題を解決するため、立ち上げがれやほたいぬ！	ポスター
2 年 生	窒素消火剤を山林火災に活用	ポスター
	狙った方向に壊れるコンクリートの開発	ポスター
	話すことが苦手な子供のためのアプリ開発	ポスター
	仕切りによる液状化対策	ポスター



学校紹介ブース



スライド発表の様子



ポスター発表の様子

